

校長室つれづれ言葉

「ありがとう」で奏でる文化祭へ

例えば、劇。

主役がいて、わき役がいて、道具係がいて、照明係がいて、監督がいて、....。

視点を変えると

わき役がいないと、主役がいらない。

道具がいないと、劇の印象が見るものに伝わらない。

つまり、どれ一つもかけても、劇は成り立たない。

わき役のアナタも主人公。

道具のアナタも主人公、.....。

主役を演じているあなたは、わき役の人のわき役。

主役を演じているあなたは、道具係のわき役、.....。

文化祭もそう。

司会者がいて、演じる人がいて、作品を出す人がいて、見る人がいて、企画がいて、....。

これも、どれ一つ欠けても上手くいかない。

見る人の大きな拍手と演じる人の一生懸命さが

ひびき合うと

大きな感動が生まれる。

互いに幸せな気分を味わえる。

あなたは、自分の人生の主人公。

人生のわき役でない。

わき役となっているあの人は、あなたを支えている。

支えてもらって、あなたは自分の道を歩んでいる。

このことを意識すると幸せがやってくるかも。

ともに幸せを創り出す。

「ありがとう」の言葉で。

Well-being.



イラスト
文化探求部